

令和6年度学校評価報告書

令和7年 3月25日

北海道教育委員会教育長 様

北海道礼文高等学校長 中西 正 志

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> やる気をおこさせる学習指導 やりがいを求めて挑戦させる進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> やるべきはやらせる生徒指導
--	---

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	ICTの活用はかなり多くの教科の授業で日常的に使用されている。また、幅広い学力層への指導方法の工夫は行われている一方で、粘り強く学習に取り組む姿勢を育てること等については、なかなか成果につながっていないことや、離島故の研修機会の少なさが課題となっている。	本校の自己評価について、概ね妥当との評価を受けた。また、礼文高校を選んでも生徒が希望する進路目標を実現できる学習指導の充実と、その成果を島内の小中学生を中心とした町民に周知する広報を充実するよう要望があった。
改善方策	「個に応じた指導」により、学力差が大きい集団に対しても「個別最適な学び」を目指す。宗谷管内高等学校教育研究会の活動や礼文町教育研究会等を活用した個々の研修や校内研修の充実により、授業の質の向上に向けた取組を行う。	
生徒指導	いじめ対策では、良好な人間関係作りの指導を予防的に行ったことは成果と言える。一方で、根気強く挑戦する態度の育成については様々な取組を行っているが課題が残った。家庭等との連携については、緊密に行っているが、今年度は困難な事例が散見された。	本校の自己評価について、概ね妥当との評価を受けた。生徒に将来の進路目標を持ってほしいこと及び主体性を引き出す教育活動への要望があった。
改善方策	自分で考え、判断する生徒を育成するために、発達段階に応じた指導のあり方を推進する。生徒指導について、スクール・ポリシーにもとづいた学校として目指す生徒像を共有し、指導を行う取組を進める。	
進路指導	職場体験実習や進路講話等の進路イベントは充実している。一方で3年間を見通した進路スケジュールに基づく指導が、生徒の進路への意識や主体性を育てることについて入学時からの計画的な指導が課題となっている。	本校の自己評価について、概ね妥当との評価を受けた。島外から本校を選び島内で就職する生徒や、本校で学んだ地域課題の解決のために進学先を選んだ生徒が出ていることを島民に知らせてほしいと要望があった。
改善方策	主体的に進路を選ぶことができるために必要な仕掛けを学校全体として取組む。進路スケジュールを有効に活用し、1学年から卒業後の姿を意識した段階的で計画的な指導を学校全体として整備し実践する取組を行う。	
健康安全指導	生徒全員を対象とする各種の面談期間が設定され、悩み事や困り感の把握や生徒の安心感につながっている。また、生徒情報の共有により、担任だけでなく多くの教員の目で見守る状況ができています。	本校の自己評価について、概ね妥当との評価を受けた。
改善方策	校内の教育相談・特別支援体制を整備し、課題を抱える個別の生徒に対する支援を学校組織の動きにスムーズにつなげる。	
公表方法	・Webページでの公開	

3 添付資料：令和6年度礼文高校自己評価集計
 令和6年度北海道礼文高等学校「学校重点事項自己評価」に対する評価集計